

2018年11月27日に当院で、救急隊の皆さんのご協力の下、トリアージ訓練が実施されました。トリアージとは、最大多数の傷病者に最善の医療を提供するため、治療や搬送の優先順位決定を行うこととされています。ポイントとしては、「救命困難な傷病者に時間や医療資源を費やさない」「処置不要な軽症傷病者を除外する」「緊急性の高い傷病者を選別し、処置・搬送を優先させる」の3点が挙げられています。今回の訓練では、トリアージの方法やトリアージタグの使い方を講義で学び、模擬患者に対してトリアージの実践を行いました。呼吸・循環・意識を迅速に評価し、傷病者の振り分けのみをする一次トリアージは、病棟や各科外来、急患室で行うような1対1の時間をかけた診察とは全く違い、瞬時の判断が求められることに難しさを感じました。そこで自分が下した判断が後にどのような結末をうむのか、良くない方向に向かってしまったら・・・と考えると怖くもありました。二次トリアージでは、生理学的評価・解剖学的評価・必要に応じて受傷機転による評価や災害弱者への配慮を行うということで、日頃から求められている診察に近いものではありませんが、検体検査や画像検査はできないため身体診察のみでその場で迅速に診断の目星をつけなくてはならないという緊張感が私にとってはとても重いものでありました。救急隊の方や病院スタッフの迫真の演技で、実際の現場でのことを想像しながら訓練に参加することができました。判断力や広い視野をもつことの重要さを、身をもって学ぶことができ、今後の診療にしっかり活かしていこうと思えました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

